



みなみの風

ドリーム & チャレンジ！ ～あいさつ・はっぴよう・なかまとじぶん～

坂下南小学校
学校だより
NO. 106
R7. 3. 12
(文責: 校長 菅家 篤)

誰かのために あの日の卒業証書



昨日の全校集会で、東日本大震災と原発事故発生直後、卒業式が中止になった福島市のある小学校でのエピソードを動画と共に紹介しました。

14年前、誰もが不安を抱える日々の中、せめて卒業証書は直接渡そうと、児童一人一人の自宅を訪ねていた先生がいました。自宅で卒業証書を手渡されたある一人の女子児童は、社会人となった今、「あの時、自分のために手渡ししてくれた先生がいたんだ」、「先生自身も大変だった中、何とかしてあげようと動いてくれた」そんな思いを胸に、宮城県内でNPOの職員として学習支援の仕事に就き、経済的な事情で塾などに通えない子どもたちを支えています。「誰かが困っている時に一助になれるような人でありたい」、「私も大変な時に、明るいこと、その子のプラスになることを意識して子どもと接していきたい」そんな思いで彼女は子どもたちを支えています。彼女は、卒業証書を見つめながら、こう話していました。

「あの卒業証書は、今でも大切な宝物」

特に6年生には、卒業式ができる喜びを胸に卒業証書を受け取ってほしいという願いを込めて話をしました。6年生が卒業するまで、あと6日です。

ハピネスなご感想、ありがとうございます！

😊 早いもので我が家の子供達もあとわずかです。小学校生活を終えようとしています。この一年間は、学校だよりや学年だより、校長先生や担任の先生との会話を通じて、この六年間で1番学校との距離が近く感じられた一年間でした。いろいろな事がありましたが、校長先生始め両担任の先生や今まで携わって下さったすべての先生方に感謝し卒業を迎える事ができるのが子供達、保護者にとって最高の「ハピネス」だと思っています。六年間、本当にありがとうございました。
(6年生の保護者様より)

😊 11月の渡辺さんの講演会でお話にあった【まだお母さんに褒められたくて頑張っている】という言葉をもとに思い出します。渡辺さんの年齢でそう思われているのなら、まだ小学生の息子たちは尚更、私に褒められたくて毎日頑張っているんだよね・・・と叱ってばかりの自分を反省しました。子育てをしている今の私に刺さるお言葉でした。素敵な言葉との出会いに感謝しています。また、保護者全体会では、新聞やネットで知ることのできるような内容ではなく、私たち保護者が知りたい南小のリアルをお話し頂けていることもありがたいです。最後に校長先生との出会いに感謝いたします。
(5年生の保護者様より)

😊 先日私が体調を崩し、娘が自分で髪を結んで登校しました。いつもとの違いに先生はすぐに気付いてくれ、「今日何かあった？」と声をかけてくれたそうです。友達は「その髪型可愛いね」と言ってくれたそうです。些細な変化を心配して温かく見守ってくれる先生と、優しいお友達に囲まれて娘は毎日楽しく学校に通うことができています。親としてこんなに嬉しいハピネスはありません。毎日笑顔で登校して、毎日沢山のチャレンジができたこの1年は、娘と私達家族の大切な記録になりました。娘の記録をこれからも家族で応援したいです！！
(2年生の保護者様より)